

シユタイナー建築家 岩橋 亜希菜さん

「生きること、進化に関わる空間環境」 〜治療教育に関わる空間〜

この治療教育の場に来訪するひとは何を求めているのでしょうか。恐らく気分転換やアトラクションによる愉快さの享受ではないはず。この空間に集い、治療教育にかかわるものは建築も含めて、ここに集うひとと時間を共有し、共に生きる存在のように思います。建築は物理的に利用しやすいものに留まらず、物理的な機能を越えてそこで営まれる行為と深い関係性を持つものです。治療教育は過去と未来の狭間にある中今を共に生きることを通して、未来への道を探る行為とすれば、そのための空間はどのようなものが望ましいのでしょうか。今回は空間の創造を通して、病院でも家でもない治療教育の環境に関して考えてみたいと思います。(岩橋亜希菜さんには、今年12月開設予定の生活介護事業所の設計監理も担当していただき、お話の中に合わせて事業所の設計についても少し触れていただければと思っております。)

[日時] 6月9日(日) 13:30-16:30

[会場] ドーンセンター 和室

〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1-3-49
京阪、大阪メトロ「天満橋駅」下車8分

[参加費] 2,500円(会員) 3,000円(一般) 当日受付にてお支払いください

[定員] 40名 [申込締切り] 6月6日(木)

[申込先] kouza@rainbow-circle.com 担当:千田 恵子

レインボーサークル 2019 年度総会記念講演会



< 予告 >

シュタイナー建築家 岩橋亜希菜さん 連続講演会

第1回 9/8 sun. 13:30-16:45

「ひとのありさま（構成）について」

存在し、生き、活動し、感じそして考えている私たち。
そんな私たちを、目に見えない部分も含めて見ることを
通して、どのような生の振る舞いをしているのかを考え
てみたいと思います。

第2回 10/14 mon. 13:30 - 16:45

「未来を開くための力」

Sympathie と Antipathie、Lust と Unlust は主要な魂の
働きですが、自らを「自分事」に向け未来を創るために
重要な意味を持つ Lust を中心に魂の働きを考えてみたい
と思います。

第3回 11/17 sun. 13:30 - 16:45

「かかわりと束縛」

共同体を含む組織やさまざまな社会生活において、常に
悩まされる関係性。大きな宇宙のかかわりを鏡として、
そこに人の関わりを重ね合わせ、人の関係性にある自由
と倫理観等を探ってみたいと思います。

岩橋亜希菜さんプロフィール

東京都出身 芝浦工業大学工学部建築学科卒業

1989年～90年度国際ロータリー財団奨学生としてアント
ロポゾフィーの芸術大学、アラヌス造形芸術大学
建築学科(ドイツ・ボン=アルフター)に留学。シュタ
イナーの理論とこれを基にした芸術論、建築を学ぶ。

1991年10月卒業 Diplom 取得。在学中より当大学教授の
画家・建築家の Frank-Rüdiger Hildebrandt 氏に師事し
Freie Waldorf Schule Heidelberg” 第3&4期工事等の設計を
担当する等、3つのシュタイナー学校の設計に従事。

1992年帰国。1993年～2002年東海大学工学部建築学科
上松研究室助手として設計研究に従事。

1993年～1998年中央工学校兼任講師(担当:設計製図
&芸術系特別講義)。2003年独立。

2007年～2015年シュタイナー学園高等部(藤野)12年生
「建築史」講師担当。2013年6月 シュタイナーの影響を
受けた現代の建築家15名の展覧会(ベルリン)に招聘・出展。
作品(2010年以降)

2014.03 “Wirbelwasser” N+O 邸改修工事 心理療法室
(大阪府交野市) 2014.08 森の風学園 心理療法棟

Klinik Magnoria 設計・監理(福島県石川郡)

2015.04 “すみれが丘プロジェクト” 新築工事 自由診療
部設計・監理 女性外来設計・監理 + 全体設計監修 (自
由診療 女性外来 サ高住:横浜市都筑区)

2017.07 (仮称) 認定こども園りのひら新築工事 設計・
監理(木造平階 福島県須賀川市) 2018.06 (仮称)

第2大麻こども園新築工事設計・監理(北海道江別市)



< お問い合わせ > happy@rainbow-circle.com

申込み受付: 7月1日(月) から 主催 一般社団法人はっぴーれいんぼー レインボーサークル rainbow-circle.com